

研究成果情報

平成 30 年度

極早生で食味が良い水稻新品種「 ^{はづき} 葉月みのり」		
[要約]「葉月みのり」は、極早生の水稻粳品種である。「越路早生」と比べて食味が良く、収量が多く、玄米品質に優れる。成熟期が「越路早生」より3日早いため、早期出荷が可能である。		
新潟県農業総合研究所作物研究センター 育種科	連絡先	TEL 0258-35-0893 FAX 0258-35-0021

[背景・ねらい]

いち早い新米に対する消費者ニーズに応えることは、新潟米の需要を拡大するために重要である。しかし、本県での栽培に適する極早生熟期の良食味品種はない。そこで極早生良食味品種の育成により、早期出荷を可能とする。

[内容]

- 1 「葉月みのり」は作物研究センター(長岡市)で、平成8年に長 1308(新潟 54 号)を母親、長 1088(こしいぶき)を父親に用いて人工交配した後代から育成された品種である(図)。
- 2 早晚性は極早生で、出穂期は「越路早生」より2日早く、成熟期は「越路早生」より3日早い。稈長は「越路早生」や「こしいぶき」と同等である。穂数は「越路早生」よりやや少ない(表)。
- 3 耐倒伏性は中、穂発芽性はやや易、障害型耐冷性はやや弱である。高温耐性は中で、いもち病抵抗性は葉いもちが中、穂いもちが弱である(表)。
- 4 収量は「越路早生」より多いが、「こしいぶき」よりやや少ない。玄米品質は「越路早生」より優れ「こしいぶき」並である。食味は良く、味度値は「越路早生」より高い(表)。

[導入効果]

良食味米の安定した早期出荷が可能となる。

[導入対象]

良食味米の早期出荷を目指す県下全域の農業者

[留意点]

- 1 割れ粃が発生しやすいため、斑点米カメムシ類の防除を必ず行う。
- 2 穂いもち抵抗性が弱であるため、いもち病防除を徹底する。
- 3 障害型耐冷性がやや弱いので、高標高地での栽培は避ける。
- 4 種子の入手方法は、県庁農業総務課に問い合わせる。

[具体的データ]

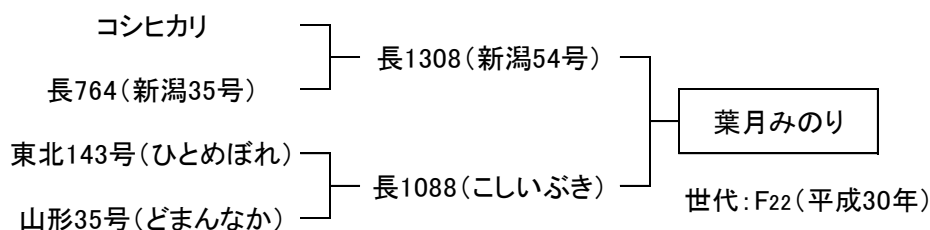


図 「葉月みのり」の系譜

表 特性概要

品 種 名	葉月みのり	越路早生	こしいぶき
早 晩 性	極早生	早生	早生
草 型	中間型	偏穂数型	中間型
出 穂 期	7月21日	7月23日	7月27日
成 熟 期	8月25日	8月28日	9月3日
稈 長(cm)	84	86	83
穂 長(cm)	17.6	18.5	18.4
穂 数(本/m ²)	380	429	428
芒の多少・長短	稀・短	稀・短	稀・短
ふ 先 色	黄白	褐	黄白
脱 粒 性	難	難	難
耐 倒 伏 性	中	弱	中
穂 発 芽 性	やや易	易	やや易
障害型耐冷性	やや弱	やや弱	中
高温耐性(整粒歩合、%)	中(60.5)	やや強(64.7)	やや強(63.2)
いもち病 (葉、穂)	中、弱	中、弱	中、中
抵 抗 性 (遺伝子型)	<i>Pii</i>	+	<i>Pii</i>
収 量(kg/10a)	556	520	582
千 粒 重(g)	21.4	21.2	21.5
玄米品質(1上上-9下下)	4.4	5.8	4.6
食味(当年度、梅雨越し)	上下(-0.54, -0.43)	上下(-0.69, -0.73)	上中(-0.41, -0.27)
味 度 値	79.5	74.7	80.2
玄米タンパク質含有率(%)	6.1	6.6	6.1
白米アミロース含有率(%)	16.4	16.7	16.6

注1 作物研究センター・奨励品種決定調査(平成20~24、26~29年度)

注2 中苗ポット育苗、5月14~20日手植え 施肥窒素量:基肥3.0kg/10a 穂肥2.0kg/10a(2回分施)

注3 高温耐性:温水かけ流し検定の評価、整粒歩合は機器分析

注4 収量:篩目1.85mmで調製

注5 食味:食味官能試験の総合評価、当年度は11月、梅雨越しは7月実施(平成20~24、27~29年度)
+5(極端に良い)~-5(極端に不良)の11段階評価 食味基準はコシヒカリ

注6 玄米タンパク質含有率:近赤外分光分析計(水分15%換算)

[その他]

研究課題名:1 水稻の基幹品種の育成 2 奨励品種決定調査事業

予 算 区 分:1 県単経常 2 県単事業

研 究 期 間:平成 8~29 年度

発表論文等:品種登録出願中(出願日:平成 29 年 10 月 25 日)